

特別非営利活動法人 「子ども健康フォーラム」
マニユライフ生命保険株式会社

ー子どもの療養環境改善のための特別支援プロジェクトー

『マニユライフわくわくルーム』プロジェクト 支援先公募開始

小児医療施設先進国並みの「プレイルーム」の普及・啓発を目指す

特別非営利活動法人(NPO) 「子ども健康フォーラム」(理事長：田邊 穰)では、日本における子どもの療養環境改善のための活動の一環として、マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO：ジェフ・クリックメイ、以下「マニユライフ生命」)の特別協賛を得て、国内の小児医療施設ではまだ設置例が少ない、入院または通院療養中の子ども達の心のケアのための中核施設、いわゆる“プレイルーム”の意義を啓発し、設置を広く促進するため、モデル・プレイルーム設置を支援する『マニユライフわくわくルーム』プロジェクトの実施を決定、このほど対象となる医療施設の公募を開始しました。

『マニユライフわくわくルーム』プロジェクトは、カナダをはじめとする欧米の小児医療先進国に比べても遜色ない施設、運営方式を取り入れた、国内で最も先進的な小児専門病院のひとつとして知られている愛知県立あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)に設置され、現在運用中のプレイルーム「わくわくルーム」をモデルとして、新規に導入を希望する全国の小児医療施設に、マニユライフ生命からの寄付金をもとに、無償で理想的なプレイルーム『マニユライフわくわくルーム』設置を支援するものです。

導入希望先が多い場合は、NPO「子ども健康フォーラム」で選考し、若干数の小児病棟または小児外来施設を選定、現地調査、個別の仕様決定、備品調達等を経て、来年4月の新規開設を目指します。

モデルとなる愛知県立あいち小児保健医療総合センター「わくわくルーム」について：

入院、通院療養中の子ども達の心のケアを目的として、あいち小児保健医療総合センター3階の病棟外に設けられた、日本ではまだ数少ない本格的なプレイルーム(約30㎡程度。4床室一部屋程度の広さ)施設です。5つの遊びのコーナーに分かれており、厳選した質の高いおもちゃ等遊具を多彩に揃えとともに、それらを使いこなせる、経験をつんだ保育士の常勤スタッフが運営にあたっており、様々な年齢の子、障害の子に対応できるように考えられています。



(あいち小児保健医療総合センターの「わくわくルーム」)

《募集要綱》

1. 募集期間：

平成19年6月上旬～平成19年7月30日 NPO子ども健康フォーラム事務局まで郵送で必着
(応募用紙はホームページからダウンロードいただけます。<http://www.npo-cln.org/>)

2. 募集対象：

小児病棟または小児外来がある以下の条件を満たす病院

- ・プレイルームの設置ができるスペース(20～30㎡程度)があるまたはすであること
- ・プレイルームの維持管理ができる体制がある(常勤またはそれに準ずる保育士等)
- ・病院として子どもの療養環境が重要であるという理解があり、今後持続して向上に努める意思があること

3. 募集内容：

プレイルーム内のおもちゃ等の備品、内装等に関わる必要経費の補助。

あいち小児保健医療総合センター「わくわくルーム」の内容をもとに、NPOと選定先病院が協議して決定。

(なお補助を受けた病院はその後の活動や状況を定期的に報告することが求められます)

4. 補助額

総額400万円またはその額に応じた必要物品等。若干数の小児病棟または小児外来を選定予定。

5. スケジュール：

8月 書類審査、ヒアリング

9月 現地調査

10月 最終審査、贈呈先決定

11月～1月 「マニユライフわくわくルーム」実施内容の協議、検討

2月～3月 現地準備、備品調達

4月 「マニユライフわくわくルーム」開設

<ご参考>

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」（愛知県大府市、センター長 長嶋 正實）をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。

あいち小児保健医療総合センターについて

世界にも通じる国内最先端の小児保健医療の専門施設として、愛知県が2001年11月に一部施設をオープン、その後2003年5月に追加の工事を終え、全面オープンしました。22科200床を備え、保健部門と医療部門を相互に連携させながら、健康に関する様々な問題を抱える子ども達に一貫したケアを提供する子どもの健康のための、県内における一大拠点施設となっており、全国的にも注目を浴びています。

「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」について

NPO「子ども健康フォーラム」の活動趣旨に共鳴したマニユライフ生命と全国の同社職員の社内募金協力により寄贈された寄付金をもとに、NPO「子ども健康フォーラム」が、子どもの療養環境改善を促進するため、全国の子どもが入院または通院する医療施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つより新しく有益な特別企画のアイデアを公募し、優秀なアイデアに対してこの寄付金による助成をするものです。

『マニユライフわくわくルーム』プロジェクトは、一昨年より実施しているこの「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」の狙いをさらに強化するための特別プロジェクトとして実施されるものです。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています（2007年5月末現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2007年3月31日現在4,260億カナダドル（3,700億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）